



現場から（最近のニュースから）

夢、ありますか



ビル・ゲイツ氏や松下幸之助氏は、成功した起業家として有名です。起業家としての手腕だけではなく、思想や生き方において、多くの方が影響を受けているでしょう。その二人が成功した鍵は「夢」という記事がありました。

ビル・ゲイツ氏は、「世界中の人にパソコンを」と夢を描きました。松下幸之助氏は「日本中の家庭を電球で照らしたい」と、二股ソケットを開発しました。前者はガレージで、後者は大阪の小さな町工場で始まっています。このような夢は、最初は多くの人々から「そんなことはできるわけがない」と「大言壮語」だと思われたはずですが、しかし、そのような夢を持ち続けていた二人が後に成功したと言われるようになりました。自宅のガレージから、小さな町工場から、一代で世界に名だたる企業に成長できたのには、製品の素晴らしさ、アイデアの秀逸さ、組織の構築、それを支える人材などなど、成功の要因はたくさんあるはずです。確かに、どれが欠けても違った結果だったと言えるでしょう。

しかし、記事ではもっとも重要なことは「夢」と言われています。たしかに、いきなり「世界を変えよう」という発想にいたるには、ある種の才能が必要でしょうが、小さな夢はたくさんあるのではないかと、記事では問うています。身近な小さな夢が、大きな夢につながるということです。（5月26日現代ビジネス<ビル・ゲイツと松下幸之助に共通する起業家の真髄...儲けではない「もっとも重要なこと」>より）

いま、あなたはどんな夢を持っていますか。その夢がかなうと、どうなると思いますか。多くの場合、夢がかなっても、次の夢を見つけなければ満たされない思いになります。ビル・ゲイツ氏のように世界中の人にパソコンを行き渡らせることができたとしても、世界は良くなっているのでしょうか。いま、パソコンゆえにとっても便利にはなったのは事実ですが、そのせいで起こっている問題が多くあることを私たちは知っています。また、日本中の家庭を電球で照らしたあと、日本はどうなっているのでしょうか。ほんとうに心の豊かさがもたらされたのでしょうか。便利になること、生活が良くなること、それが夢なら、その便利さ、豊かさによって、また、なにか問題が起こるのを見ているでしょう。では、どんな夢を持てば、ほんとうに満たされるのでしょうか。後から空しくなるような夢ではなく、必要な夢を持って始めることはできるのでしょうか。絶対に必要な夢を持って始めることについて、いっしょに考えてみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください